

シドニー留学便り__vol.8

こんにちは。晩秋でだいぶ肌寒くなってきている頃かと思いますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？日本でもそうかもしれませんが、こちらでもショッピングセンターやデパートのショーウィンドウではクリスマスの飾りつけがちらほら見られるようになってきました。昨年も同じようなツリーを見たなあと思いつつ、一年の短さを実感する今日この頃です。アメリカ出身の友人は、「クリスマスなんて早すぎる！その前のThanksgivingがまだ終わってない！」と嘆いていていました。アメリカ人にとっては、Halloweenをし、Thanksgivingを祝ってから、初めてクリスマスモードになるようです。後藤先生のボストン福島シャトル便でも、両方のイベントが紹介されていたのを覚えています。西洋文化と日本文化という大雑把な分類で色々と比較しがちですが、あらためて西洋の中での文化の違いを実感しました。ちなみにオーストラリアでは、Thanksgivingはもちろん、Halloweenもあまり定着していない(最近の日本と同じくらいの盛り上がり程度)ようです。

さて、大学の方ですが、先週から大学全体が試験期間となり、いよいよ学期末が近づいてきました。私は最後のAssignmentを提出し、ついにMPH programの全科目の課題を終了しました！あとは結果を待つのみです。無事修了できますように(できないと困りますが、、、)。

今回のお便りでは、前回予告しておりましたイベントを中心にお伝えします。

■ The Public Health Harbour Cruise

先月中旬から先週末までは、講義を受けつつ最後のAssignmentに追われる日々が続いていましたが、そんな中、ちょっとした息抜きに、毎年恒例の“Public Health Harbour Cruise”が10月末に行われました。学生の有志により開催されるナイトクルーズで、オペラハウスやハーバーブリッジなど見ながらシドニー湾周辺を4時間かけて移動しつつ、船上で飲んだり食べたり踊ったり…とワイワイ楽しむというものです。毎年ドレスコードが決められており、今年は無難に“Cocktail attire”ということで、みんなちょっとばかりお洒落をして参加していました。シドニーは入り江が非常に発達しており、シドニー湾自体も内海なので波も穏やかで、クルーズを楽しむという文化が比較的盛んです。日本ではなかなかできない体験ができて、楽しいひと時でした。

こんなクルーズ船に乗って出かけました。後ろに見えるのは、夜のオペラハウスです。

船内は2階建てになっていて、バーカウンターやちょっとしたダンスホール(DJが大音量で音楽を流していました)、トイレも完備されていて、4時間乗っても困らないようになっていました。夜で暗く、多少揺れたこともあって、船内の写真は上手く撮れず... ご紹介できないのが残念です。

ちなみに、私は踊らない(踊れない)ので、同じく踊らない友人たちとおしゃべりしながら過ごしていました。



■ “Sculpture by the sea” in Bondi beach

もう一つ、先月末に行われていたシドニーでのイベントをご紹介します。前々回にご紹介した凧のお祭りが開かれていたボンダイビーチで、今度は”Sculpture by the sea”というアートイベントが開催されました。これも毎年恒例のようですが、ボンダイビーチから隣のタマラマビーチまでの海沿いの遊歩道(約2km)に100点以上の作品が並び、自然の風景と調和した作品を楽しみながら歩くというものです。もちろん、無料です。世界中の芸術家たちの作品が並べられており、中には自由に触ったり遊んだりできるものもありました。

遊歩道の入り口から。日曜日に行ったので、たくさんの人たちが遊歩道で列を作りながら歩いていました。平日の空いている時間に行けばもう少しゆっくり見られたかもしれませんが、空と海の青色を背景に見る作品は、どれも見ごたえがありました。



最終地点のタマラマビーチは、ビーチ全体が作品のようになっていました。大きなフライパンの中に子供たちがたくさんいます。

■ 思いがけずあの人に…

さて、課題も全て終わり帰国まで1カ月を切ったので、シドニー市内でまだ行ったことのないところなどできるだけ散策しようと、毎日のように街歩きをしたり、友人たちとお出かけしたりしています。ちょうど今週はじめ（ブリスベンで開かれていたG20が閉幕して間もない頃です）、たまたま通りかかった公園で、なんと、ドイツのメルケル首相をお見かけしました！！ ANZAC（アンザック）memorialという戦争記念碑を訪れていたようです。なかなか一国の首相をテレビ以外で目にすることはないので、とても貴重な体験をしました。

メルケル首相が車に乗りこむところです。
車にはちゃんとドイツの国旗がついてました。



警察の騎馬隊も出ていて、公園周辺は警察官でいっぱいでしたが、手荷物検査等があるわけでもなく、意外と自由に公園に出入りでき、ANZAC memorialの建物周囲まで近づくことが許されました。



今回は、話題がoutdatedになる前にイベント中心にお届けしました。大学の卒業式（修了式）ですが、実はオーストラリアでは課程が修了してから約半年後に Graduation ceremonyが開かれます。私の場合は、来年の5月頃の予定です。多くの留学生は帰国して正式な式に出られない場合が多いため、School of Public Healthでは、留学生のためだけに、非公式の”Mock Graduation Ceremony”を毎年行っているようです。今年は、11月末（来週）に行われます。まだ最終の成績は受け取っていない状態での式なので、ちょっと微妙ではありますが、次回、その様子も含めてお伝えしたいと思います（おそらくそれで最終回になるでしょうか…）。

それでは、また！